



**Information Attendant / Ganymede with File Search**

---

## 環境設定マニュアル

2018 年 09 月 03 日

Ver 1.10

FCS – Techno

---

## お願い

- ・本書に関する著作権は FCS-Techno社に帰属します。FCS-Technoの事前の許可なく、本書の一部あるいは全部を複写・複製、再配布することを禁止します。
- ・本書および本製品は、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用効果については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書にご不明な点、誤植、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

本書内に記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

[illegible]

---

## 目次

改訂履歴 .....	i
目次.....	ii
1. 初めに.....	3
1.1. 本書の目的と対象読者 .....	3
1.2. 複数アカウントを用いた導入について.....	3
1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境.....	3
2. Ganymede with File Search 稼働環境の設定.....	4
2.1. 環境設定の設定画面を起動.....	4
2.2. 基本設定 .....	5
2.3. 拡張設定 .....	7
2.4. 表示設定 .....	8
2.5. WEB サーバー設定 .....	9
2.6. SMTP の設定 .....	12

## 1. 初めに

Ganymede with File Search をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、Windows Server OS に対しての本製品の導入、及び環境設定を行うに当たっての作業手順と操作方法に関する解説書です。

Windows Server の構成内容によっては本製品の導入が行えない場合もあります。

本製品の導入を実施する前に一読下さるようお願い致します。

### 1.1. 本書の目的と対象読者

本書の目的は、Ganymede with File Search の導入および利用を検討され、また導入する際に必要となる「**Windows Server 役割の概要**」をご理解されているユーザー様の設定支援を目的として記載しております。

- Windows Server システム管理者としてアカウントを付与されている。
- Windows IIS に関してご理解されている。
- Web サーバーの役割に関してご理解されている。
- IIS における認証方法の違いをご理解されている。
- ネットワーク環境における IIS への接続環境の構成状況をご理解されている。
- Windows フォルダおよびファイルのアクセス許可権の設定に関してご理解されている。

### 1.2. 複数アカウントを用いた導入について

本製品の導入を実施したユーザーアカウントを、管理者アカウントとして稼働環境に対して登録を実施します。本製品の導入後は同一アカウントでの操作をお願いします。

### 1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境

Ganymede with File Search の推奨 OS として「**Windows Server OS**」を推奨します。

クライアント OS への導入も行えますが、稼働環境不可として導入を中止する場合があります。

- CPU : Windows Server 2008R2 がストレスなく稼働する CPU でご利用下さい。
- OS : Windows Server 2008R2 以上、64 ビット OS、尚、Server Core への導入は行わないで下さい。
- メモリー : 4GB 以上、推奨 8GB 以上
- HDD : 導入ドライブの空き容量 300MB 以上

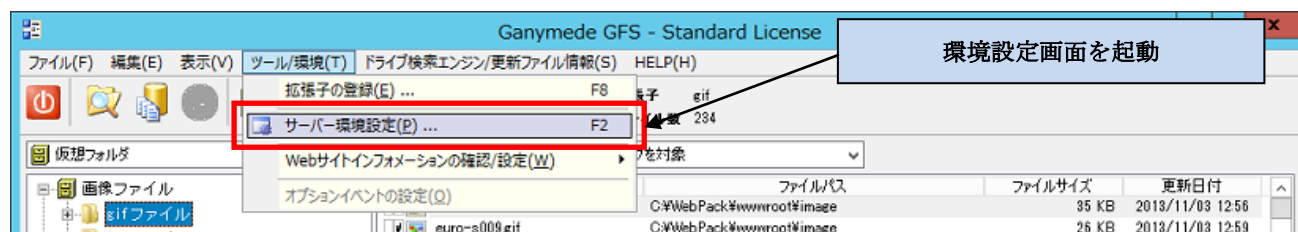
導入ドライブ空き容量ですが、管理対象のファイル数の増加によっては更なる空き容量を必要とする場合がありますので、十分な空きを確保して下さい。

## 2. Ganymede with File Search 稼働環境の設定

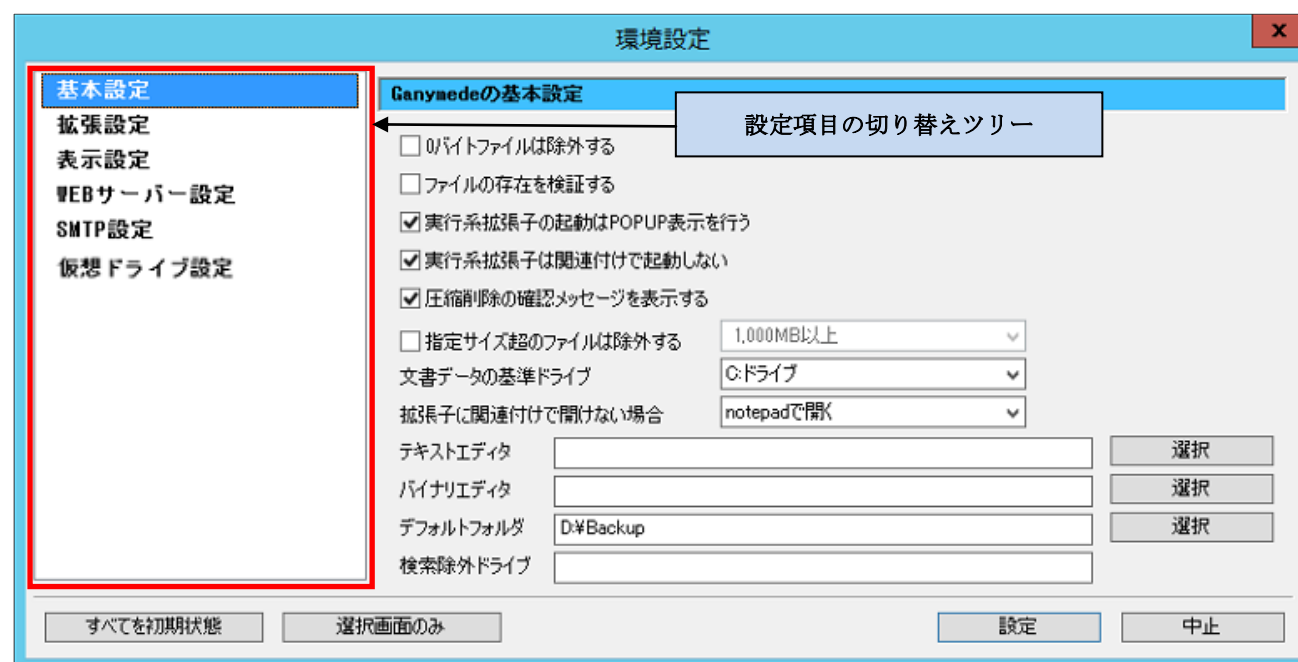
Ganymede with File Search の基本的な稼働環境の設定を行います。尚、IIS に関する設定に関しましては導入時に全ての設定を行いますので、本環境設定から IIS に関する設定は行いません。

本環境設定は、ファイル検索処理に影響しますので安易な変更は行わないで下さい。

### 2.1. 環境設定の設定画面を起動



ファイルメニュー内の「ツール／環境」「サーバー環境設定」を選択し、環境設定画面を起動して下さい。



設定項目の切り替えツリー内の各項目を選択することで、設定する環境項目を切り替えます。

設定内容の反映を行う場合は、「設定」ボタンをクリックして下さい。

全ての設定内容を画面起動時の初期状態に戻す場合は、「すべて初期状態」ボタンを、選択画面内の項目を初期状態に戻す場合は、「選択画面のみ」ボタンをクリックして下さい。

変更内容はリアルタイムに反映します。

WEB サーバー設定以外は、ファイルサーバー内のローカル環境に対する設定です。WEB サイトの稼働制御に関する設定ではないことに注意して下さい。

仮想ドライブの登録に関しましては、「Ganymede 管理者の手引き・仮想ドライブ編.pdf」をご参照下さい。

## 2.2. 基本設定

環境設定

基本設定

拡張設定

表示設定

WEBサーバー設定

SMTP設定

Ganyamedeの基本設定

☐ 0バイトファイルは除外する

☐ ファイルの存在を検証する

☒ 実行系拡張子の起動はPOPUP表示を行う

☒ 実行系拡張子は関連付けで起動しない

☒ 圧縮削除の確認メッセージを表示する

☐ 指定サイズ超のファイルは除外する 1,000MB以上

文書データの基準ドライブ C:ドライブ

拡張子に関連付けで開けない場合 notepadで開く

テキストエディタ

バイナリエディタ

デフォルトフォルダ D:\Backup

検索除外ドライブ

すべてを初期状態

選択画面のみ

設定

中止

## 【0 バイトファイルは除外する】

- ・ファイル検索を実施した際に「0 バイトファイル」の場合、INDEX テーブルへの登録は行いません。

## 【ファイルの存在を検証する】

- ・管理マネージャ画面にてファイル情報の表示を行う際に表示するファイルは、そのファイルの存在の確認を実施後に存在した場合のみ表示します。
- ・ファイルサーバー上で直接ファイルの削除を実施した場合、その削除の反映にはタイムラグが存在しますので、表示されている情報のファイルが確実に存在するわけではありません。

## 【実行系拡張子の起動は POPUP 表示を行う】

- ・実行系のファイルを開く場合は、開く前に警告 POPUP 画面の表示を行います。
- ・チェック状態をお勧めします。

## 【実行系拡張子は関連付けで起動しない】

- ・ファイル拡張子に関連付けてのファイル呼び出しは実行しません。
- ・Notepad もしくは登録されたテキストエディタで開きます。
- ・チェック状態をお勧めします。

## 【圧縮削除の確認メッセージを表示する】

- ・重複ファイルの削除時に、該当のファイルをアーカイブファイルに集約し圧縮しますが、その際に確認メッセージを表示します。
- ・チェック状態をお勧めします。

**【指定サイズ超のファイルは除外する】**

- ・チェックした場合、ファイル検索を実施した際に「指定サイズを超えるファイル」の場合は、INDEX テーブルへの登録は行いません。
- ・仮想環境のイメージファイル等の GB を超えるファイルの重複検証を実施する場合、全てのファイルデータを読み込んでハッシュ値を求めます。重複検証の時間を要する場合がありますので、ファイル内容に合せた設定をお勧めします。

**【文書データの基準ドライブ】**

- ・重複確認を行う際に重複ファイルと判定した際のメインファイルのドライブ指定です。
- ・指定したドライブに存在するファイルをメインファイルと判断します。
- ・指定のドライブ以外のドライブに存在するファイルは、重複ファイルと判断します。

**【拡張子に関連付けで開けない場合】**

- ・選択したファイルを開く場合、拡張子に関連付けられたモジュールで開くのがデフォルトです。
- ・開くモジュールが見つからない、もしくは開けなかった場合に指定のモジュールで開きます。

**【テキストエディタ】**

- ・ファイルを開く際に本項目に登録されたモジュールが存在した場合は、操作 POPUP メニュー内に本項目の登録モジュールでの処理メニューが付加されます。

**【バイナリエディタ】**

- ・ファイルを開く際に本項目に登録されたモジュールが存在した場合は、操作 POPUP メニュー内に本項目の登録モジュールでの処理メニューが付加されます。

**【デフォルトフォルダ】**

- ・本項目の登録が行なわれていた場合は、本項目の登録フォルダを新規作成の仮想フォルダの作業フォルダとして初期表示します。
- ・本項目の登録が行なわれていた場合は、本項目の登録フォルダを新規作成の分類グループの作業フォルダとして初期表示します。

**【検索除外ドライブ】**

- ・ファイル検索から除外するローカルドライブを指定します。
- ・不用意なファイル操作を未然に防ぐ場合は、非公開ドライブとしたいドライブを指定して下さい。
- ・登録可能なドライブ数は、最大で「4 ドライブ」までです。
- ・入力方法は、「E:,F:,G:」の形式で入力します。



## 2.3. 拡張設定

環境設定

基本設定  
拡張設定  
表示設定  
WEBサーバー設定  
SMTP設定

Ganymedeの拡張設定

☒ エントリー名の重複は許可しない  
☒ 親エントリーの設定を引き継ぐ  
☒ ファイル削除の確認画面を表示する  
☐ 動的にINDEXバッファを生成する  
☐ 予約フィールド  
☐ 予約フィールド  
リターンキーの動作モード 拡張子に関連付け  
デフォルト圧縮タイプ ZIP  
☐ 新規ファイルを収集する 1日  
☐ 更新ファイルを収集する 1日

すべてを初期状態 選択画面のみ 設定 中止

**【エントリー名の重複は許可しない】**

- ・仮想フォルダ名の重複許可の設定です。

**【検索除外ドライブ】**

- ・親フォルダに登録された環境データの引継ぎです。

**【ファイル削除の確認画面を表示する】**

- ・ファイルの削除を行う場合は、その削除処理に対する確認 POPUP 画面を表示します。

**【動的に INDEX バッファを生成する】**

- ・動作メモリーを節約する場合に指定して下さい。

**【リターンキーの動作モード】**

- ・ファイルリストビュー画面内でのリターンキーの動作指定です。

**【デフォルト圧縮タイプ】**

- ・ファイル圧縮時の圧縮タイプを指定します。

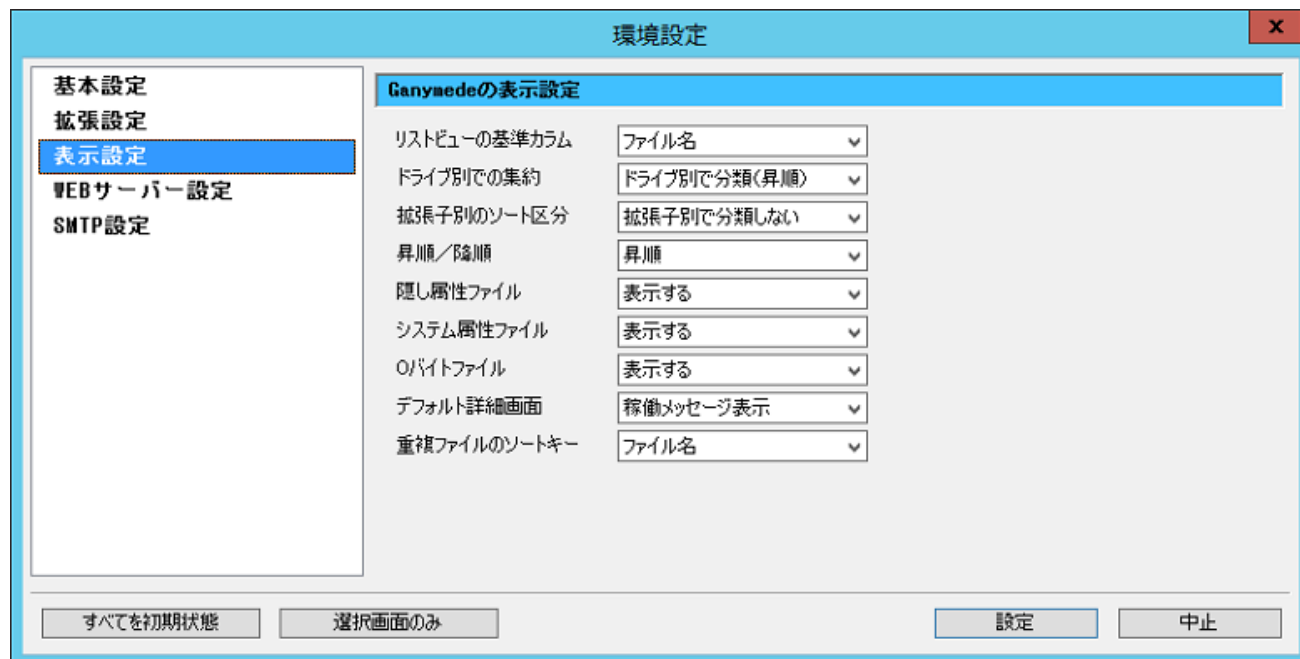
**【新規ファイルを収集する】**

- ・ファイル検索時に新規ファイルの収集処理を実施します。

**【リターンキーの動作モード】**

- ・ファイル検索時に更新ファイルの収集処理を実施します。

## 2.4. 表示設定



本設定項目は、メインリストビューのファイル表示の初期表示に関する設定です。

メインメニュー内の表示メニューでもリストビューの表示指定の切り替えは行えます。

ツリービューに関しましては、アイテムの作成順での表示となります。ツリービューの表示に関する設定項目はありません。

## 【隠し属性ファイル】

- ・ファイル属性の指定内容に隠し属性の指定が有った場合の表示指定です。
- ・隠し属性のファイルで有っても INDEX テーブルへの登録は行われます。

## 【システム属性ファイル】

- ・ファイル属性の指定内容にシステム属性の指定が有った場合の表示指定です。
- ・システム属性のファイルで有っても INDEX テーブルへの登録は行われます。

## 【0 バイトファイル】

- ・0 バイトファイルの表示指定です。

## 【デフォルト詳細画面】

- ・マネージャー画面の起動時に表示する詳細画面の種別を指定します。

## 【重複ファイルのソートキー】

- ・重複ファイルの表示画面における初期表示のソートキーを指定します。

## 2.5. WEB サーバー設定

**環境設定**

**GanyadeのWEBサーバー設定**

☒ 管理者ユーザーのキープアライブ      ☒ ブラウザ上にログインユーザーを表示  
☐ 0バイトファイルのアップロードを許可  
☒ パブリックサイトの公開時間      8時 ~ 20時  
☒ アップロードファイルの制限      200MB  
☐ ダウンロードファイルの制限      200MB  
☒ パスワードエラーのユーザーロック      4回  
Web接続のログ収集レベル      LEVEL1  
Webエラーのログ収集レベル      LEVEL1  
☐ ファイルアクセス件数を収集する  
収集ファイルリスト件数      1,500件  
AD連携時のドメイン名      TKYAD  
パブリックサイト(HTTPS)のホスト名      gfs2012r2      ☐ HTTP接続を許可する

本設定項目は、Web サーバーの初期起動における設定を含みます。

設定内容の変更を反映させるためには、Web サーバーの再起動が必要となる場合もありますので、サイトの運営に関してましては十分に検討したうえで、本項目の設定を行って下さい。

尚、ワнтаイム URL 機能を利用する場合、ワнтаイム URL の接続先アドレスはパブリックサイト内のサブサイトとして動的に作成します。

外部ユーザーには動的に生成したサブサイトを接続アドレスとして通知します。

ワнтаイム URL 機能を利用する場合は、パブリックサイトの作成は必ず行なって下さい。

#### 【管理者ユーザーのキープアライブ】

- ・管理者ユーザーID で Web サイトよりログインした場合、その接続状態を維持する場合に指定します。
- ・通常ユーザーの場合は、無操作状態が連続して 15 分以上続いた場合、セッションタイムによって接続は切断されます。

#### 【ブラウザ上のログインユーザーを表示】

- ・本設定を有効にした場合、メイン画面のサイドメニューの下部にログインユーザーを表示します。
- ・表示情報は、ログインユーザーID、及びログインユーザー名です。

#### 【0 バイトファイルのアップロード許可】

- ・クライアントサイドからファイルをアップロードする場合、「0 バイトファイル」は警告メッセージを表示してアップロード処理を拒否します。
- ・0 バイトファイルのアップロードを許可する場合にチェックして下さい。

**【パブリックサイトの公開時間】**

- ・パブリックサイトとは、「https:」セキュアサイトとして公開するサイトを表現しています。
- ・初期導入時は、パブリックサイトは未作成状態です。
- ・パブリックサイトの公開時間を設定する場合にチェックして下さい。
- ・公開時間外は、パブリックサイトのアプリケーションを停止します。
- ・他のサイトは、IIS が開始状態の間は接続を受け付けます。
- ・ワнтаイム URL 接続サイトは、本設定の影響を受けません。

**【アップロードファイルの制限】**

- ・クライアントサイドからサーバーサイドへアップロードするファイルのファイルサイズに制限を設定する場合にチェックして下さい。指定されたサイズを超えるファイルのアップロードは拒否します。
- ・指定無しの場合、デフォルト制限サイズ「20MB」が適用されます。

**【ダウンロードファイルの制限】**

- ・クライアントサイドが、サーバーサイドからダウンロードする際のファイルサイズに制限を設定する場合にチェックして下さい。指定されたサイズを超えるファイルのダウンロードは拒否します。
- ・指定無しの場合、デフォルト制限サイズ「200MB」が適用されます。

**【パスワードエラーのユーザーロック】**

- ・ログインを実施したユーザーが、そのログインの際に入力したパスワードに間違いがあった場合の再ログイン処理の許可件数を指定します。
- ・パスワード入力エラーが指定回数に達した場合、そのユーザーID をロック状態に切り替えて該当のユーザーID を一時的に無効なユーザーID とします。
- ・無効ユーザーID の解除は、分類グループ処理での利用者ユーザーの設定画面にて行います。

**【WEB 接続時のログ収集レベル】**

- ・WEB サイトの接続ログの収集する情報のレベルを指定します。
- ・WEB サイトの収集ログには接続したクライアントの情報を収集するログと、正常にログインが行えたログインユーザーの情報を収集するログの 2 種類が存在します。

**【WEB エラーのログ収集レベル】**

- ・WEB サイトへの接続方法に不正が有った判断した際に収集する情報のレベルを指定します。
- ・公開 HTML ファイル全てで不正判定の処理を実施します。
- ・不正と判定した場合、エラーページに強制的に切り替えます。

**【ファイルアクセスの件数を収集する】**

- ・クライアントサイドがファイルのダウンロードを行った場合に、その操作の対象となったファイルのアクセス件数を収集します。併せて操作ユーザーの情報も収集します。
- ・ファイル利用状況の判断材料になるかと思います。

**【収集ファイルリスト件数】**

- ・クライアントサイドに通知するファイルの最大収集件数を指定します。
- ・ファイル件数が多い場合、指定件数に達した時点で収集を打ち切ります。

**【AD 連携時のドメイン名】**

- ・AD 連携による Windows 認証での「シングルサインオン」を実施する場合、該当のドメイン名を登録して下さい。ドメイン + ユーザー名で検証します。
- ・シングルサインオンのユーザーID とシステムに登録されている全てのユーザーID の比較を行い、該当のユーザーが登録済みの場合、ユーザーID・パスワードの入力処理をスキップしユーザーメイン画面に移動します。尚、パスワードとシングルサインオン時のパスワードの比較は行ないませえん。

**【パブリックサイト(HTTPS) のホスト名】**

- ・インターネット上にサイトを公開する場合に登録します。
- ・インターネット上から接続可能なグローバルホスト名を入力して下さい。
- ・パブリックサイトへの接続プロトコルは、デフォルトで「HTTPS」です。
- ・通常のファイル検索サービス、ワンタイム URL ファイル授受サービス個別での設定は行なえません。

**【HTTP 接続を許可する】**

- ・パブリックサイトへの接続プロトコルに HTTP を許可する場合にチェックします。
- ・通常のファイル検索サービス、ワンタイム URL ファイル授受サービス個別での設定は行なえません。
- ・パブリックサイトでの接続プロトコルは、「HTTPS」で接続する事を強く推奨します。

パブリックサイトの構築に関しましては「**Ganymede 管理者の手引き・WEB サイト編**」ドキュメントも併せてご参照下さい。

## 2.6. SMTP の設定

本設定項目は、ワнтаイム URL の発行に伴うメール通知に関する設定です。

GFS 導入サーバーからメールサーバーへ、メール送信の要求が行なえる環境下において設定して下さい。

ワнтаイム URL におけるイベント通知は全て SMTP メール送信で行ないます。

**【SMTP 接続方法】**

- ・通常接続とは、SMTP 標準のメール転送依頼をメールサーバーにポストします。
- ・AUTH 認証とは、メールサーバーへの接続時に「ユーザーID/パスワード」のログイン認証後に、認証された場合のみ、メール転送依頼をメールサーバーにポストします。
- ・SSL 接続とは、メールサーバー間の通信経路を SSL プロトコルを持ちた暗号化通信でセキュアな環境下のもと、メール転送依頼をメールサーバーにポストします。  
AUTH 認証も併用されます。
- ・TLS 接続とは、メールサーバー間の通信経路を TLS プロトコルを持ちた暗号化通信でセキュアな環境下のもと、メール転送依頼をメールサーバーにポストします。  
AUTH 認証も併用されます。

**【SMTP サーバー名】**

- ・メールサーバーのホストアドレスを入力します。  
グローバルアドレスである必要があります。

**【SMTP ポート番号】**

- ・メールサーバーとの通信に用いるポート番号を入力します。  
接続方法に合せた適切なポート番号を入力して下さい。

**【SMTP ユーザーID】**

- ・ AUTH 認証・SSL 接続・TLS 接続にてメールサーバーとの接続を行う場合、接続時の事前処理として、「ユーザーID/パスワード」のログイン認証が実施されます。  
適切なユーザーID を登録して下さい。

**【SMTP パスワード】**

- ・ AUTH 認証・SSL 接続・TLS 接続にてメールサーバーとの接続を行う場合、接続時の事前処理として、「ユーザーID/パスワード」のログイン認証が実施されます。  
適切なパスワードを登録して下さい。

**【SMTP ログ管理】**

- ・ メール通信処理の、個々のメール通信のロギングを行う場合に有効にします。